

献呈のことば

河本一郎先生は、平成七年三月末をもって本学を定年退職されました。先生は国際関係法学科の設立に多大の貢献をされるなど、本学法学部の発展にご尽力をいただきました。私たちは、深い敬意・感謝の念を込めて、ここに退職記念論文集を編み、先生に捧げることにしました。

河本先生の各方面におけるご活躍には目をみはるものがあります。ご専門である商法等の分野での業績は周知のとおりであり、最高権威として先生の影響を受けない商法学者等はいないといっても過言ではないと承知しております。先生は、大学教授としての職務のかたわら、司法試験考査委員、法制審議会委員等の政府関係委員、私法学会等の学会理事、大阪証券取引所規律委員会委員長等の民間の要職などを数多く歴任され、現在もなおその任にとどまっておられるものも少なくありません。神戸大学法学部長・評議員を経て同大学を定年退官、本学教授に就任されてからは、弁護士の業務にも携わってこられました。神戸大学に在任中は、多数のお弟子さんを育てられ、この方々は同大学など各地の大学で教授として活躍されているところでもあります。

河本先生は、率直で温かみとユーモアのあるお人柄であり、本学法学部のスタッフの誰とも気軽に接しられ、敬意と親しみを得てこられました。本年三月にお書きになった随想（「書斎の窓」四四二号）にも先生のお人柄がにじみでているような気がします。先生のもとに多数の優秀な門下生が集まったのもむべなるかなという思いがいたします。

河本先生には、現在も壯者をしのぐご活躍をしておられますが、今後もご壯健であられることをお祈りします

とともに、いつまでも後進の私たちをご指導くださいますようお願い申し上げます。

一九九五年四月

法学部長 乙部 哲郎